

第7回山ノ内町議会報告会実施結果報告書（東部上）

日 時	平成26年1月23日（木）午後7時～午後9時
場 所	杓野区 和合会館
参加人数	住民参加者：30人 議員15人 事務局1人
地元協力団体	杓野区・杓野組・渋湯組・横湯組
議員役割分担表	<p>総括責任者 山本一二三</p> <p>司会進行 高山 祐一</p> <p>常任委員会報告者</p> <p>総務常任委員会 徳竹 栄子</p> <p>社会文教常任委員会 西 宗亮</p> <p>観光経済常任委員会 山本 良一</p> <p>広報常任委員会 望月 貞明</p> <p>議会活性化研究会 布施谷裕泉</p> <p>記 録 者 小根澤 弘</p> <p>出席議員 小根澤 弘・望月 貞明・西 宗亮・田中 篤・布施谷裕泉・高山 祐一 高田 佳久・山本 良一・黒岩 浩一・徳竹 栄子・湯本 市蔵・小淵 茂昭 山本一二三・小林 克彦・渡辺 正男</p>
次第（担当者）	<p>1. 開 会 司 会 者 高山 祐一</p> <p>2. あいさつ</p> <p>(1)主催者 副 議 長 渡辺 正男</p> <p>(2)共催者代表 杓野区長 関 彦吉</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1)議会常任委員会等報告</p> <p>①総務常任委員会 徳竹 栄子</p> <p>②社会文教常任委員会 西 宗亮</p> <p>③観光経済常任委員会 山本 良一</p> <p>④広報常任委員会 望月 貞明</p> <p>⑤議会活性化研究会 布施谷裕泉</p> <p>(2)質 疑</p> <p>4. 懇談事項</p> <p>テーマ「公共施設の整備」</p> <p>5. 閉 会 司 会 者 高山 祐一</p>
報告事項の質疑	<p>質問：よませ保育園改修の話があったが、小学校も空いてくるので、そういった空き教室をもっと利用できないのか。</p> <p>回答：小学校では「空き教室」とは、とらえていないようである。現在、空き教室を利用しているのは北小学校以外の3小学校で「児童クラブ」として活用している。小学校と合わせての保育園の活用は、今のところ検討されていない。今後については、今言われたご意見を参考にさせていただく。</p> <p>質問：小学校を統合していくと必ず小学校は空いてくるので、その点も考えてはどうか。</p> <p>回答：統合した場合だが、それはこれからの課題であって、教育委員会では同時進行はしていない。今は小学校の統合をどうするかということであり、統合後の空き小学校の施</p>

	<p>設利用については今後の課題である。今、伺った意見は大切にしてい</p> <p>質問：北陸新幹線が開業した場合、どのようにして山ノ内町へお客様を連れてくるかをもっと考えてもらいたい。</p> <p>回答：議会「一般質問」で公共交通を考えるよう質問をしている。現在町では広域市町村と連携して検討しているようだが、今のところ具体的に決まったものはない。</p> <p>質問：ロマン美術館の入館者を増やすために、是非「町のロマン美術館にしか無いもの」や「町のロマン美術館でしか、見れないもの」を集めて展示してもらいたい。</p> <p>回答：できるだけ、入館者が増えるよう町に提言していきたい。</p>
<p>懇談会意見</p>	<p>質問：今回の説明で問題となっているのは、耐震化だけである。たとえば、洪水の場合にはどこへ避難したらいいのか？また、耐震については、どのような調査をしたのか。</p> <p>回答：3月に山ノ内町から「山ノ内町地域防災計画改定案」が出る。この中で「指定緊急避難場所」「指定避難所」「1次避難所」「2次避難所」と分けていく。</p> <p>質問：地盤によって耐震化の整備の仕方が違うと思うが、町ではそのような地区によって調査をするのか。また、水害時の調査もするのか。</p> <p>回答：基本的に建物の調査をする予定になっている。また、一般質問等で内容を詰めていく。</p> <p>質問：社会体育館は最終的にどうなるのか。</p> <p>回答：配布資料に記載されているが、平成28年～平成32年の後期の中でやっていく方針となっているので、そのために今から早く検討委員会をやっていってもらいたいと議会として行政に言っている。</p> <p>質問：それでは、社会体育館は取り壊すということか。</p> <p>回答：基本的には使用できないので取り壊すことになると思う。時期については、今はわからない。</p> <p>質問：SBCラジオで放送されている「よってかしゃい山ノ内町」の放送料金はどこから出ているのか。また、聴取率はどのくらいか。趣旨として番組は町内の人に伝えるのか？県内の人に聴いてもらうためか。</p> <p>回答：放送料金は100%県からの補助金である。(町費は使われていない。)山ノ内町の振興のために、山ノ内町観光連盟に委託して、民放各社に町の宣伝のために使われている。また、メッセージの伝える先は聴取者で、町内外の方に伝え、特に町外の人に山ノ内町へ来ていただくために行っている対外的なCMである。山ノ内町にしかないことについて、ラジオを通して伝えるためである。</p> <p>質問：志賀高原エコパークに向けて歴史ある道路や遺跡等の整備の考えは。</p> <p>回答：志賀高原エコパークは、まだ町民に理解されていない部分がある。町では志賀高原エコパークについての具体的な整備活動は起こしていないと考える。今後は、これだけの財産なり自然が有るということを住民に周知していくことが大切だと思っている。</p>

質問：17ページの避難所の収容人数合計が町全体で見ると非常に少ないと思う。それを補うために、旧和合保育園を改修して避難所としたら。また、町民プールの跡地を避難所の候補地にできないか。

回答：人数については、全員で避難するとは考えられないということと、また、避難所の候補地にと言われたが、町としては、災害ごとに避難所を変えていく予定のため、確認しながら町へ提言していく。

質問：山ノ内町は過疎地になりつつあり、また、限界集落にもなりつつあると思う。今、町長がやっている過疎対策の過疎債の運用や、あるいは、どんな所に使われているのか。また、それから限界集落への対応の仕方。地域へ活力を与えるような補助事業はないのか。

次に6次産業について、町民が新たな起業が出来るのか。

また、保育園には手のかかる子供たちが多くなってきていると言われたが、手のかかる先生も増えて来ていると思うが、委員会で調査をしてはどうか。報告会で聞いたことを議会へ提案する気持ちはあるのか。

回答：過疎集落、限界集落にしても住民が頑張っていくことが大切で、町は県や国の色々な助成金の活用についても取り組んでいる。地域住民がもっと主体的に考えることが大変重要だと思う。

6次産業については、地域の良いものを歴史や文化を加味しながら掘り起こし、工場が町に無い場合には近隣の工場を活用することも重要だと思う。

また、税金は補助金等にも使われており、上手に活用することも必要なもので、議員として町や町長に提言していきたい。

質問：先程の質問の中で「手のかかる子供が増えている」という発言があったが、それは認識が違うのではないか。そのような子供は昔からいたと思う。ここに来て増えたと言う認識はおかしいと思う。今まで問題にならないというのは社会が進んできて問題が究明されて来たので良いことだと思う。

回答：確かに究明がされ進んできて、そういった子供がいることが分かってきた。だから、数が増えたと考える。

質問：数が増えた、とは不本意だ。

回答：昔は病気だとは思われなかった。しかし、近年では病気と判明してきたと、だから、たとえば、前年は70人だったが、今年は80人ということである。

質問：もし増えているという認識だとすれば、改めて欲しい。

質問：子供の遊ぶ場所に空き地があったらと思うが、旧和合保育園の跡地を開放して親がいなくても遊べる場所にして欲しい。

回答：ポケットパーク式の公園が必要と思う。今は子どもが外に出て遊ぶことが非常に少ないのではないかと、しかし、子どもが安全で安心して遊べる場所が地域にはあった方がいいと思う。町としては、都市計画公園を含めて公園の整備を計画してやっている。優先順位的には低いので整備は遅れているが、子どもが外で楽しく遊べる環境づくりは大変必要だと思う。

質問：社会体育館が平成16年から10年間も使用不能になっているのに、いつまで建てておくのか。また、ロマン美術館の入館者数が少ないので、入館者数増と収入アップの対策と、また、看板や景観についても是非考えてもらいたい。

回答：議会でも、新しい社会体育館の整備と現存の社会体育館の取り壊しを含めどうしていくのか町に投げかけている。検討委員会を早く立ち上げ、後期総合計画の平成28年には手をつけられる状態にもっていけるように、意見を提示していきたいと思う。

また、ロマン美術館については、議会としても周辺整備を含め抜本的に検討することという意見をつけ、ただ入館者を増やすだけでなく、ロマン美術館自体をどんな形で町の美術館として今後維持していくのか、また、どんな形で運営していくのか、しっかり考えるべきと意見を出している。町として、今後どんな形で出してくるか、見ていていただきたい。

また、幕岩線の町道については、町道として認定はされているが、3年位前に供用廃止になっている。皆様の合意で「村の歴史の道」ということで、皆様が合意を持って進めてほしいとなれば、議会としても応援をしていきたい。

質問：山ノ内町にも歴史的な旧道がある。これを復旧する気にならなくて「志賀高原エコパーク」とはおかしい。

回答：この町にある、本物の歴史を掘り起こすつもりはある。今後大いに参考にさせていただく。

質問：防災マップを見て思ったのだが、避難所が赤印の危険地域の中にあるような気がするがどんな理由か。

回答：避難所は当初に町が指定したものであり、その後に土砂災害の調査が行われ、それをもとに防災マップが出来たために、避難所が危険地域に入ってしまった。この件については、議会で一般質問をしているが、現在、町では地域防災計画の見直しをしており、今言われた場所等は避けた形で防災計画を作成し、1次避難所・2次避難所、または水害・地震・土砂災害避難所と分けて、避難所を設定するように計画しているようである。地域の皆様の意見等を聞いて、さらに良いものになるように町へ提言をしていく。

質問：小学校の統合について、先日アンケート結果が集約され発表されたが、これをまとめてどうするのか？公表で終わるのか？議会へかけるのか？

回答：今のところ議会へは何もない。今は、教育委員会の中でアンケートについての審議等を行っていると思う。新聞等では、3月議会に提案するだろうと書かれていたが、今のところ議会へは何の話もない。いずれは議会へ出してくると思うが、アンケートについても、今後参考として使うものと思う。

質問：住民の意見を聞いただけで、合併ありきではないということか。

回答：今は、教育委員会の中でアンケートを参考に会議を開催し、一定の方向付けをして案を作って議会へ提出してくると思うので、その時に本格的に議論を行う。

質問：もっと積極的に今後一校にするといったように、一本にまとめて提案できないのか。
このようなことを教育委員会へ議会として提案できないのか。

回答：教育委員会と話をしたかということと、議会から一校にするように提案を出してはということであるが、昨年4月に議員間でこの問題について話し合いをし、全議員の考え方については、教育委員長と教育長には伝えてある。また、一校にしてはということについては、中学校も開校して50周年になるので、その辺のことも考え、保護者や地域の皆様の考えをまとめたなかで、教育委員会が審議会の設置について提案をしてくるものと考えている。